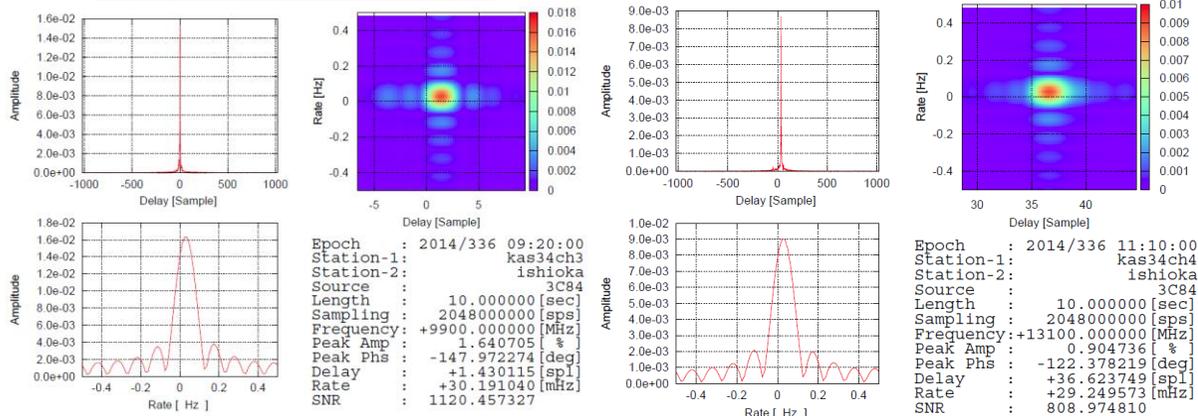


祝！鹿島34mと新石岡13mの VLBI実験に成功！！

NICTはVLBI高精度周波数比較を実現するため、超広帯域VLBIプロジェクトGala-V（ガラヴィー）を推進している。

今回、2014年10月に開所式が行われた国土地理院の石岡13mアンテナ（右上）とNICT/鹿島34mアンテナ（左上）の基線で、12月2日10GHzと13GHzの周波数1GHz帯域を用いたVLBI実験に成功した（下図にフリンジマップ）。石岡局にとってはこれが初めてのVLBI実験である。現在、国際VLBI事業（IVS）は各国に呼びかけて次世代の測地VLBIシステム（VGOS）の整備を進めており、ここでは2-14GHzの広い周波数帯域の利用を計画している。この広帯域観測はこれまでは米国の2局のみで可能であったが、今後日本国内で広帯域実験を実施し、広帯域VLBIの研究開発を推進する。

今回の実験は国土地理院とNICTの研究協力の結果達成されたものです。ここに深く感謝いたします。（KT記）



10GHz

13GHz

謝辞：NICTの広帯域受信機の開発は2013年および2014年度の国立天文台共同開発研究費のサポートを受けています（課題名：鹿島34m用超広帯域受信システムの開発）